

大 船 山

平成30年7月20日

ホームページ <http://www.ena-gif.ed.jp/kamiyahagi-e/>

連日、猛暑で熱中症のニュースが流れています。先日は多治見市で 40.7 を記録するなど、今年は岐阜県で全国の最高気温を記録する日が多く、上矢作でも梅雨明け後は猛暑に見舞われています。学校でも連日 30 を超える教室の中で、扇風機をフルに回転させて、水分補給に留意しながら、子どもたちは授業に取り組んできました。この暑さの中にもかかわらず、終業式前 2 日間は体調を崩しての欠席者もなく、子どもたちのたくましさに驚かされます。

1 学期を振り返ってみますと、今回の熱中症対策だけではなく、6 月 19 日の飯田洞地区での熊の出没をはじめとして、5 月 22 日に名古屋市守山区の病院から精神鑑定中の容疑者が逃走した事件、7 月 2 日には土岐市で発生した傷害事件の犯人逃走事件など、子どもたちの登下校に関わって安全を脅かすことが何回かありました。全国的に見ても、6 月 26 日に富山市で発生した警察官から拳銃を強奪して小学校へ侵入した事件や、6 月 18 日に震度 6 弱を記録し、ブロック塀の倒壊事故が話題となった大阪北部地震、7 月 4～6 日に大雨の影響で臨時休校となり、本校の関係では大きな被害は出なかったものの、全国的には広島県・岡山県・愛媛県等を中心にして 200 人を超える死者が出る大災害となった豪雨など、1 学期の間に様々な事件や災害が発生しています。

そのような中でも、上矢作小学校の 68 名の子どもたちは、無事に 1 学期を終えられ、大きな事件や事故がなかったことのありがたさを、終業式を迎える今、強く感じます。何もなかったことは、いわば当たり前のことですが、様々な事件や事故が発生する状況の中では、その当たり前に感謝しなければいけないと思います。（健康と同じで、損なってみて初めてそのありがたさを痛感するもののような気がします。）

この子どもたちの「1 学期の無事」の陰には、健康面や学習面、精神面で保護者の方やご家族の方のご協力があったからだと感謝申し上げます。今後とも、学校の教育活動にご支援、ご協力をいただきますようお願いいたします。

夏休みがいよいよ始まります。子どもたちには、長期の休みでないと体験できないことをたくさん経験してほしいと思います。（宿題などの“やらなくてはいけないことをやりきること”が大前提ですが。）

また、気がゆるみがちになる夏休み中においても、猛暑の中での熱中症、自転車も含めた交通事故、プールや川や海での水難事故、夕立など突然の雷雨による落雷事故、熊・サル・イノシシ等の野生生物との遭遇、不審者の出没など屋外における事件・事故に気を付けるとともに、休みが続くことによる生活リズムの乱れ、テレビの見すぎ、ネットやゲームのやりすぎ、感染症や食中毒などの健康面でのトラブルにも十分に気を付けて生活してください。

2 学期始業式に、たくさんの夏休みの宝物を持って、笑顔で全員に登校してくることを願っています。

新学習指導要領について その 2

「新しい学習指導要領の基本方針」は、これから子どもたちが生きていく複雑で予測が困難な時代の中で、その社会の変化に主体的に（自分から）向き合って関わり合い、自らの可能性（身に付けた力や創造性）を発揮し、多様な他者（身の回りの人々）と協働しながら、よりよい社会と幸福な人生を切り拓き、未来の創り手となるための必要な力の育成をめざしています。

今の子どもたちには、AI が人の仕事を取って代わってしまうような少子高齢化の社会の中で、仲間と上手な関わりを持ちながら活躍できるための力をつけることが必要とされています。